

## 【指定就労継続支援 A 型事業所 経営改善計画書】

事業所名称	マヤファーム			代表者氏名	厚見 剛		
事業所所在地	岡山県和気郡和気町本159-1						
連絡先	電話番号	0869-92-4061			FAX番号	0869-92-4062	
職員数	6	定員	20	利用者数	18 (うち身体2 知的 12 精神 4 その他 )		
事業所の設置主体	社会福祉法人 ・ 民間企業 ・ <u>(NPO法人)</u> ・ その他				設立年月日	平成24年6月1日	
改善計画期間	令和6年4月1日 ~ 令和7年3月31日 (1年間)						

1 現在、指定基準条例第180条第2項（賃金及び工賃）を満たすことができていない理由と具体的改善策（詳細かつ具体的に記載すること）

<p>(未達成理由)</p> <p>天候不順における作物の不作による収入減。 (例) 計画 実施 チンゲンサイ 5,500,000円→4,485,442円 生産収入1,014,558円 減 白ネギ 6,500,000円→2,425,496円 生産収入4,074,504円 減 青ネギ 6,500,000円→3,466,266円 生産収入3,033,734円 減 青空 3,000,000円→3,312,984円 生産収入312,984円増 合計 21,500,000円→13,690,188円 (7,809,812円の減収) 令和5年度の夏の暑さは観測史上最高を記録しており、さらに雨量も記録的に少なく、全国規模で農作物の不作が確認されている。この天候に対しては予測ができておらず、栽培管理の失敗が最も大きな未達成理由になります。</p> <p>未達成事例1. (白ネギ) ネギ類は暑さには大変に弱い特性があり、生育のストップ、軟腐病等の病気、害虫の多発が起りやすい。別紙資料※1「岡山県下白ねぎ出荷実績」によれば、県北にある一部の産地※2(前年度比100%以上)を除くと、前年度の10%~66%であり当事業所の白ネギの出荷量は前年度の約40%となっています。※1 (JA全農おかやましらべ) ※2 蒜山等産地による部会活動で行われている。生産者が増えている様子で作型は夏ネギであり成功しているが、当事業所は冬ネギであり、他の産地も冬ネギは不作であった。</p> <p>未達成事例2. (青ネギ) 白ネギ同様暑さに弱いが初夏に出荷する作は成功している。ただし、その後の2作目、3作目が生育遅れのため出荷減となった。青ネギは灌水設備があるため、少雨には対応出来るが出荷スケジュールは大幅に遅れると言うよりストップしてしまった。</p> <p>未達成事例3. (チンゲンサイ) 青ネギの生産をチンゲンサイのハウスで行った結果不作となり、合わせてチンゲンサイの減収にもつながってしまった。又、夏の間害虫が多発しており減収につながってしまった。</p>	<p>(具体的改善策)</p> <p>令和5年度の異常気象にもかかわらず、出荷出来ている産地もあるが当事業所の白ネギ(冬ネギ)の生育期間の夏~秋が異常な暑さ及び、少雨のため生育が悪くなり収量が大幅に減少しています。※出荷出来ている産地は主に夏ネギであり、生育期間が春から初夏である上に、生産地域が県北(県南に比べ暑さが緩やか)であるため、気候による影響は少なく出荷の影響があまりなかったとの事です。</p> <p>暑さのみの対策とするなら、県北と同じ夏ネギにすれば良いが、青ネギの出荷とかぶるため、体制的に不可能となります。出来ることは生育期間の管理に力を入れることであり、土づくり、肥料、農薬、水管理のやり方を研究する事です。事実、当事業所周辺でも生育に成功しているとみられる農家があることから生産は可能であると思います。又、出荷の時期をずらす事で、対応可能な部分もある事から、あらゆる面を検討し改善します。</p> <p>具体的改善策1. (白ネギ) 対策①土づくり: 対策済 農地に水をためて土壌改良を行う。 対策②肥料: 対策済 肥料の変更(成分を見直している) 対策③農薬: 準備中 対象農薬の見直し(種類・使用回数) 対策④水管理: 準備中 少雨の場合、用水路の水を使用する。(水稲以外では通常使用しない)</p> <p>具体的改善策2. (青ネギ) 対策①増産: 準備中 作付けを3000㎡から5000㎡に増やす。 対策②出荷調整: 交渉中 出荷先との連携の仕方を工夫する。(無理な出荷はかえって減収となるため、予め暑さに合わせてこまめな打合せを行う)</p> <p>具体的改善策3. (チンゲンサイ) 対策①ハウス: 対策済 ハウスで青ネギの生産を行わない 対策②肥料: 対策済 肥料の変更(成分を見直している) 対策③農薬: 準備中 対象農薬の見直し(種類・使用回数) 情報収集先(出荷先、農業普及センター、農薬会社の技術者、肥料会社の技術者、近隣農家)</p> <p>※上記の改善策を徹底的に行うことにより<b>農業生産の成功率を上げることが出来れば</b>、ほぼ今までどおりの経費率で売り上げを大きく上げることが可能になると考えます。当事業所は安定した生産活動が出来るかどうかにより、収益のバランスがとれる形態をとっています。</p> <p>出荷先、取引先、関係者から大きな期待を受けていることを強く感じています。職員と利用者が一丸となり迷わず信念をもって目標に向かい生産出荷に邁進します。</p>
--	--

2 現在の事業内容及び改善計画期間を通じて実施する事業内容

現在の事業内容	改善計画期間を通じて実施する事業内容
<p>(農作物の生産規模と出荷先)                      ハウスチンゲンサイ(2,000m2) 中央卸売市場・青空出荷                      白ネギ(19,000m2) 中央卸売市場・青空出荷                      青ネギ(3,000m2) 中央卸売市場・加工業者・青空出荷                      水稲(20,000m2) 民間販売業者・青空出荷                      (販売経路等)                      ハウスチンゲンサイ                      規格品は中央卸売市場でセリにより販売されるが、規格外品は青空市での販売となります。(周年栽培・販売)                      白ネギ                      主に中央卸売市場からスーパーマーケット等に流通しています。規格外品は青空市での販売となります。(春～秋栽培→冬販売)                      青ネギ                      主に契約先の加工業者に出荷しています。規格外品は中央卸売市場・青空市での販売となります。(春～秋冬栽培→5月～11月末販売)                      米・もち米                      うち米は主に民間の販売業者に出しますが、もち米と合わせて青空市での販売も行います。(5月～9月末栽培→10月～12月販売)                      (市場動向)                      中央卸売市場内では県内産よりも、他県からの農産物が主流に扱われており、県内産の農産物は減少傾向と見られている。原因は競合相手である生産者の減少によるものと思われる。ただし、売り場では県内産にニーズがあり、矛盾が感じられません。青空市での販売に関しては、県内より他県へ出荷したほうが販売しやすいと感じます。                      ※当事業所の事業内容の大半は農産物の生産です。</p>	<p>(農作物の生産規模と出荷先)                      ハウスチンゲンサイ(2,000m2) 中央卸売市場・青空出荷                      白ネギ(17,000m2) 中央卸売市場・青空出荷                      青ネギ(5,000m2) 中央卸売市場・加工業者・青空出荷                      水稲(22,000m2) 民間販売業者・青空出荷                      (販売経路等)                      ハウスチンゲンサイ                      前年度と同じ                      白ネギ                      前年度と同じ                      青ネギ                      前年度と同じ                      米・もち米                      前年度と同じ                      (市場動向)                      前年度と同じ                      ※上記の青ネギのみが単価契約を行っており、青ネギの規模拡大に成功することが収支バランスの改善のカギになると考えています。その他の農産物は市場の動向により単価は変動しますが、良品を多く出荷出来れば全体の売上は確実に上がります。                      当事業所の事業内容の大半は農産物の生産です。これまでも不作によるロスが見られていました。上記の具体的改善策を徹底的に行うことにより農産物不作の解消(事業の成功)につながると考えています。</p>

(※) 事業内容には、生産活動の内容、対象顧客、市場動向、競合相手の動向、改善後の事業内容に主に従事する者の数や属性(どのような資格、経験等を持った者が担当するか等)について詳細に記載すること

3 現在の生産活動に係る事業の収入額及び改善計画期間を通じて基準適合を達成する事業収入目標額(1年間の額を記載)

現在の収入額	改善計画期間を通じて達成すべき目標収入額
18,091,321円	25,000,000円
<p>(主な費目) ※税込                      ハウスチンゲンサイ(2,000m2) 4,485,442円                      白ネギ(1,900m2) 2,425,496円                      青ネギ(3,000m2) 3,466,266円                      青空販売 3,312,984円                      その他(保険等) 4,401,133円</p>	<p>(積算根拠)                      ハウスチンゲンサイ(2,000m2) 5,500,000円                      白ネギ(1,700m2) 6,500,000円                      青ネギ(5,000m2) 10,000,000円                      青空販売 3,000,000円                      ※別紙参照</p>

(注) 目標収入額は、積算根拠に基づいた実現可能性のある数値であること。

4 現在の生産活動に伴う経費及び改善計画期間を通じて基準適合を達成する必要経費の見込額(1年間の経費を記載)

現在の経費	改善計画期間を通じて見込まれる経費
9,968,312円	8,040,000円
<p>(主な費目)                      材料費、当期経費、販管費</p>	<p>(積算根拠)                      諸材料等の直接的な経費は農産物の売り上げより約30%~40%をこれまでの実績から算出しています。                      ※経費項目の見直しについて。                      生産活動に直接関連している項目を見直します。ただし、事業拡大に伴い増加する経費もあります。</p>

5 現在の生産活動に係る収益額及び改善計画期間(基準適合の目標期間)後の収益の見込額

現在の「収入-経費」	改善計画期間後の「収入-経費」
8,123,009円	16,960,000円

6 現在の利用者の総賃金額及び改善計画期間(基準適合の目標期間)後の利用者の総賃金額

現在の支払い総賃金額	改善計画期間後の支払い総賃金額
20,649,576円	19,580,400円
(積算根拠)	(積算根拠) 退職による1名減の17名にて算出しています。

## 経営改善計画期間中の具体的改善策と実施時期等

項目	課題	実施期間	具体的な改善策
作業体制 の見直し	生産品目・品種の見直し	令和6年3月31日～令和7年4月	昨年度より取り組んでいる単価契約による青ネギの生産出荷を拡大する計画にしています。3,000㎡→5,000㎡に拡大します。又、昨年行った春作の青ネギのハウス栽培は思うような成果に繋がらず、チンゲンサイのハウスを使用したことからかえって減収に繋がってしまったため従来通り春もチンゲンサイの栽培に充てる事としました。白ネギに関しては台風等気象条件が厳しい秋ネギをやめて収穫率の高い冬ネギ・春ネギを増産しています。昨年の夏を考えると冬ネギも生育期間は厳しい環境を過ごすことになる可能性があります。夏ネギ（収穫率が高い）は青ネギと出荷が重なる事から生産出荷出来ないため徹底的に冬ネギの栽培管理を行います。
	生産物の品質・生産量を計画通り に行うための体制づくり		昨年同様、目標を達成するための内容を具体化するために計画を立て、実際に作業行う職員と利用者による周知の為の会議を行います。 （年間工程会議） 前年度期間中に次年度の年間計画を職員・担当利用者により会議を重ね作成します。 （月間工程会議） 年間計画における具体的な内容を、作業を実施する前月に職員・担当利用者により会議を行い作成します。 （毎日のミーティング） 一日の各作業における人員配置・明確なノルマ・安全対策等の決定を職員・担当利用者により作業開始の朝礼までに行い、朝礼時にその内容を明記したボードを提示しながら説明することにより作業者に周知します。 （品質会議） 日頃行っている作業のやり方、又、生産している品目・品種における課題を抽出し、改善策を職員・担当利用者により会議を行い、決定内容をマニュアル化します。
	新たな視点による改善策 を取り入れる		当法人が認定されている認定農業者に伴う農業経営改善計画を管轄する備前県民局農業普及センターの専門家により今までにない視点の改を検討します。

（注）経営改善を行う項目（例：営業体制の強化、経費削減、販路拡大等）を記載するとともに、課題を記載し、その課題に対応するための実施期間と具体的な改善策をそれぞれ記載する。適宜欄は追加する。

(計画期間中の見込額)

令和6年～7年		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	決算整理	計
収益	就労支援事業収益 ①														0
	就労支援事業活動収益計② (=①)	1,200,000	1,200,000	1,800,000	1,800,000	1,800,000	1,800,000	2,400,000	2,400,000	2,400,000	2,400,000	2,400,000	2,400,000	1,000,000	25,000,000
費用	就労支援事業販売原価③ (=④+⑤+⑥)	600,000	600,000	600,000	600,000	600,000	600,000	600,000	600,000	600,000	600,000	600,000	600,000		7,200,000
	期首製品(商品)棚卸高④														
	当期就労支援事業製造原価⑤	600,000	600,000	600,000	600,000	600,000	600,000	600,000	600,000	600,000	600,000	600,000	600,000		7,200,000
	当期就労支援事業仕入高⑥														0
	期末製品(商品)棚卸高⑦														0
	就労支援事業販管費⑧	70,000	70,000	70,000	70,000	70,000	70,000	70,000	70,000	70,000	70,000	70,000	70,000	70,000	840,000
	就労支援事業活動費用計⑨ (=③+⑧)	670,000	670,000	670,000	670,000	670,000	670,000	670,000	670,000	670,000	670,000	670,000	670,000	8,040,000	
	就労支援事業活動増減差額⑩ (=②-⑨)	613,000	613,000	1,213,000	1,213,000	1,213,000	1,213,000	1,813,000	1,813,000	1,813,000	1,813,000	1,813,000	1,817,000		16,960,000
	支払い賃金総額⑪	1,631,700	1,631,700	1,631,700	1,631,700	1,631,700	1,631,700	1,631,700	1,631,700	1,631,700	1,631,700	1,631,700	1,631,700		19,580,400

利用者への支払い賃金は費用に含めず、支払い賃金総額⑪へ記載すること。

(前年度実績)

令和5年～6年		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	決算整理	計
収益	就労支援事業収益 ①														0
	就労支援事業活動収益計② (=①)	907,050	725,640	1,088,500	1,814,100	1,632,700	1,451,300	1,632,700	2,177,000	2,539,800	1,632,700	1,705,800	784,031		18,091,321
費用	就労支援事業販売原価③ (=④+⑤+⑥)	732,525	732,525	732,525	732,525	732,525	732,525	732,525	732,525	732,525	732,525	732,525	732,530		8,790,305
	期首製品(商品)棚卸高④														
	当期就労支援事業製造原価⑤	732,525	732,525	732,525	732,525	732,525	732,525	732,525	732,525	732,525	732,525	732,525	732,530		8,790,305
	当期就労支援事業仕入高⑥														0
	期末製品(商品)棚卸高⑦														0
	就労支援事業販管費⑧	98,167	98,167	98,167	98,167	98,167	98,167	98,167	98,167	98,167	98,167	98,167	98,170		1,178,007
	就労支援事業活動費用計⑨ (=③+⑧)	830,692	830,692	830,692	830,692	830,692	830,692	830,692	830,692	830,692	830,692	830,692	830,700		9,968,312
	就労支援事業活動増減差額⑩ (=②-⑨)	76,358	▲105,052	257,808	983,408	802,008	620,608	802,008	1,346,308	1,709,108	802,008	875,108	▲46,669		8,123,009
	支払い賃金総額⑪	1,759,936	1,656,464	1,761,274	1,722,026	1,734,514	1,771,086	1,647,774	1,811,092	1,793,384	1,633,410	1,693,990	1,664,626		20,649,576

着色セルは自動計算されます。また、金額には3桁ごとにカンマが入り、マイナスの場合は先頭▲が付くよう設定しています。